

令和2年度「小中学校等ICT教育推進研究協議会」に係る 経過報告と今後の予定について

義務教育課・学校人事課

1 第1回協議会について（令和2年12月21日開催）

参加団体：前橋市、高崎市、太田市、吉岡町、下仁田町、川場村、小学校長会、中学校長会
ICT拠点校（高山小、榛東中）、県教委

オブザーバー：岡田CDO、松田孝氏

内容：・県のICT教育の推進についての説明及び共通理解
・ICT教育を推進する上での現状や課題についての情報交換
・3つのワーキンググループ設置の確認

（WG①：共通プラットフォーム活用、WG②：「新時代の学び」推進、WG③：業務改善推進）

主な意見

- ・全県でICT活用を開始するにあたって、分かりやすく使いやすい授業モデルがあるとよい。
- ・教員はICTの活用に関して意欲的である。
- ・学校でICTを活用した学びを推進するためには、管理職の経営力が必要である。
- ・教員はできるところからはじめるとよい。
- ・小中高のデータ連携については、県として最低限必要なデータを明確にして、引き継ぐようにするとよい。
- ・ICTを活用した業務改善については、学校差がないようにしていくことが大切である。

2 第1回ワーキンググループについて

(1) WG① 共通プラットフォーム活用（令和3年1月27日開催）

【全県下の共通プラットフォームの運用と活用について検討し、提案する。】

参加団体：前橋市、高崎市、榛東村、下仁田町、県教委 オブザーバー：岡田CDO

内容：・県・国が示すICT教育の推進についての説明及び共通理解
・共通プラットフォームについての説明及び各市町村からの意見収集
・小中高での教育データ（スタディ・ログ等）の活用についての説明及び意見収集

主な意見

- 【共通プラットフォームについて】
- ・情報活用能力の育成のモデルを県で作成してもらえるとよい。→現在、作成中。
 - ・セキュリティの確保が心配。ID発行の際の保護者への了承をどのように得ていくのか、県全体で確認することについて共通理解ができるとよい。
 - ・ID管理ではなく、IDのルール化、ルールの統一を県がすることで、どこに行ってもデータ活用できるようにするとよい。
- 【教育データ（スタディ・ログ等）の活用について】
- ・本当に共有する価値のある教育データを明確にする必要がある。
 - ・データの形式（様式）よりも、どのような項目を共有するのかが大切である。
 - ・共有するデータを全県で共通理解し、見通しをもってやっていくことが大切である。
 - ・教育データ＝すべてのデータではなく、児童生徒によって柔軟に対応できるとよい。

(2) WG② 「新時代の学び」推進（令和3年1月27日開催）

【新時代の学びにおけるICTの有効な活用方法について検討し、提案する。】

参加団体：前橋市、高崎市、藤岡市、吉岡町、板倉町、小中学校長会、附属学校園、県教委

内容：・講話「『令和の日本型学校教育』における学びのイメージについて」

講師：文部科学省初等中等教育企画課教育制度改革室 室長補佐 鴨志田 暁弘 氏

- ・県が目指す「新しい学び」の概要についての説明
- ・「新時代の学び」推進WG②の活動展開（案）についての説明及び意見収集

主な意見

- ・県が目指す「新しい学び」の考えや枠組みについて理解できた。今後展開される新しい学びをどのように学校に発信するのか考えていきたい。
- ・情報活用スキル系統表については、各市町村ともに着手できていないので、作成し、示せるとよい。
- ・教員が1人1台PCを活用することの意義やよさについての理解をすることが大切である。
- ・WG②で展開していく今年度提供予定の以下1～4の資料は、価値のあるものと考える。
 - 1 学びの充実に向けたICT活用の授業ガイド
 - 2 1人1台端末活用スキル系統表【義務教育9年間】
 - 3 発達段階に応じた情報活用スキル獲得のための初期指導例【R3年度限定モデル】
 - 4 ICT活用のためのルール参考資料

(3) WG③ 業務改善推進（紙面開催）

【ICTを効果的に活用した業務改善の方策について検討し、提案する。】

参加団体：前橋市、富岡市、みどり市、館林市、下仁田町、榛東村、県教委

内容：・各委員を対象に、主に以下についてGoogleフォーム（WEB）によるアンケートを実施

- 1 学校における業務のICT化の実態に係る調査
- 2 ICT化により効率化・省力化が期待できる業務に係る情報収集

アンケート概要

(1) 質問概要

- ①各学校における「校務支援システム」や「学習支援ソフトウェア」、「クラウド型ツール（Google for Education等）」の活用状況等
- ②各学校において活用されている業務改善用ツール（Excel等の既存のソフトウェアを活用して、学校において独自に開発・作成された電子ファイル等）に係る情報収集
- ③学校における業務のうち、今後ICT化によって効率化・省力化が期待される業務（学校全体としての業務、各職種等に係る個別の業務）

(2) 主な意見等

- ・「通知票作成」や「会議資料データの共有」等、一部の業務についてはICT化が進められているが、紙ベースで管理されているものも多い。
- ・各学校がExcel等で独自に作成したツールもあるが、学校を超えて共有されているものは少ない。
- ・管理職、教諭、養護教諭、事務職員等、それぞれの職務内容に応じて、業務のICT化を個別に検討していく必要がある。また、サービス・庶務関係事務についてもICT化が期待される。

3 今後の予定について

- ・令和3年2月19日：第2回ワーキンググループ（第1回WGで集約した意見を基に協議）
- ・令和3年3月17日：第2回協議会

- ・3つのワーキンググループからの報告・検討
- ・今年度のまとめと次年度の取組について